

みぢか くも しら 身近な雲のふしぎを調べてみよう

とうきょうだいがく きやすと
東京大学サイエンスコミュニケーションサークルCAST

はじめに

空に浮かぶ雲にはふしぎがいっぱい。雲はどうやってできるのだろうか？雨はどうやって降るのだろうか？いろいろな実験を通して、科学の目で空をながめてみよう！

じっけん 実験

① 雲を作ってみよう

用意するもの：炭酸用ペットボトル、フイズキーパー※、消毒用アルコール

普段は空に浮かんでいてなかなか近くで見ることができない雲も、実験なら手軽に間近で観察できるよ。身近なもので、雲を作ってみよう！

※炭酸が抜けないようにするためのポンプ式のキャップのこと。

② 雨粒が作られる様子を見てみよう

用意するもの：水、霧吹き、水をはじく板（まな板、下じきなど）、受け皿

霧吹きで水を板に吹きつけると、水は板の上を流れていくね。水滴どうしがくっついて、落ちるのが速くなっていくのが分かるかな？雨はこうして降ってくるんだ。

③ 雲の模様を観察しよう

用意するもの：ホットプレート、油、アルミ粉、熱に強い底が平らな容器、ティッシュペーパー

空を見上げていると、うろこ雲が見えることがあるね。これは、空気の「対流」という現象によって作られるんだ。実験で同じような模様を再現してみよう！

※注意！ ホットプレートはとても熱くなるので、ぜったいにさわらないでね。実験は必ず大人の

人と一緒に行い、アルミ粉を吸い込まないようにマスクをつけてね。

さんこうぶんけん 参考文献

NGK サイエンスサイト<<https://site.ngk.co.jp/lab/no79/>>, 2021年4月閲覧。

とあさき 問い合わせ先

とうきょうだいがく きやすと
東京大学サイエンスコミュニケーションサークルCAST

HP：<https://ut-cast.net>

メール：info@ut-cast.net

